

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	草津市家庭教育支援チーム (呼称: NPO 法人くさつ未来プロジェクト) URL: http://www.kmp-kusatsu.org
活動開始年度	平成28年度
活動拠点	玉川まちづくりセンター、市民交流プラザほか
活動範囲	草津市内全域、滋賀県
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (寄付・会費・助成金)
組織体制	理事 11 人 正会員 30 人 保育士 4 人、教員 4 人、大学教員 2 人、草津市教育委員 1 人、草津市社会教育委員 2 人、草津市審議会委員 5 人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他()
	【活動内容】 ①未就園児親子及び育児中の親の交流の場 6つの育児サークルで未就園児親子の居場所、交流の場づくりをしている。 ②子育てシェア的母子分離育児サークル 親が人に頼れたり、お互い様の精神が養われるように、地域で子育てシェアの意識を広め、数時間でもママにリフレッシュしてもらえたらという思いで地域の先輩ママが母子分離育児サークルを行っている。 ③子どもへの新しい関わり方を学ぶ親子プログラム「親子 TRY 部」 子どもたちはチャレンジすることの大切さと自分に自信を持つことを、大人は子供たちの成長を引き出す、見守る、支えることで自己肯定感について学ぶ。 ④「どうせ無理」をなくし一人一人がチャレンジする大切さに気付く「子どもロケット体験教室」 ロケットの製作、発射、振り返りを通して、「自分に自信を持ち」「自分のことがすきになれる」教室を開催。

	<p>⑤親、教師だけでなく、社会人、経営者、大学生など様々な大人たちと関わることによって、子どもたちが「自分を知り」「社会を知り」「自立する」力を身につけていくプログラム「すきなものビンゴ&お仕事マップ」を実施</p> 
<p>活動の成果</p>	<p>未就園児親子の交流の場だけでなく、保護者一人一人が輝ける場を作っていきたいという思いを持ち続けており、それが新しいリーダーによる複数のサークルの立ち上げにつながった。半年ごとにアンケートも実施しているがネットプロモータースコアで 100 を出すプログラムもあり、子育て支援プログラムとしてきちんと提供できていると感じている。</p>
<p>活動において苦労した点や課題</p>	<p>資金面。 会費、寄付の割合が多いので、安定した収入で基礎体力をつける必要がある。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p>「出産～未就園児～園児～小学生～中学生～すべての世代」 まずは親になる大人が自分の子育てに自信を持つことで自己肯定感をもち、その結果として子どもも自己肯定感を持てるよう、子育て世代を中心に、地域で暮らす人々に、様々な価値観を知る機会を提供できる NPO として活動していきたい。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>代表理事 堀江 尚子 (TEL) 090-5087-9904 (E-mail) kmp.horie@gmail.com</p>